

いしかわスクエア



井上 道義の 未来だった今より

月 それぞれ

先日、サントリーホールでヴァインシャーマン(ドイツの元世界的オーボエ奏者)という92歳なのに元気に指揮?をしている人の「ヨハネ受難曲」を聞いた。最近亡くなったボッセ(元ライプツヒのコンサートマスター)という指揮者?は90歳だった。ゴールドベルク(元ベルリンフィルのコンサートマスター)という84歳で亡くなった指揮者?も含め、共通点がある。みな奥さんが日本人だ。ウィーンフィルやベルリンフィル、イタリア、フランスでさえ、男のそれも優秀な音楽家が日本の女性を大事にするのは半世紀も前からだ。それに引き換え日本の男は例外はあるが欧州の女性からモテるといふ話は聞かない。それはさておき、指揮者はなぜじじいになってまでやれるのか? 疑問が解けない。みな指揮者になったのが晩年で、10代から指揮をやっている僕から見るとこれでいいの?みたいな指

揮が多く、指揮を「演奏がきつくなつたから指揮をします」的な仕事だと思われることへの胸中に巻き起こる嵐が止められない。誤解しないでほしいが音楽の問題は別だ。みな素晴らしいソリストであったことは確かだし、音楽的な魅力も人望もある。でも世の人々の大半が指揮者は何をやるべきで、どこが上手いか下手かを見分ける事が出来ないのに愕然とする。昔、ロンドンで勉強していた頃、指揮を始めた若い頃のバレンボイム(4歳年上、天才ピアニスト・近年良い指揮者)のレコーディングを見学させてもらったにもかかわらず、「あなたは指揮は下手なのになぜすごいキャリアが築けるのか」と言っ

男と女の事に結論はなく、誰もわからない指揮のアートにも結論はなし。(オーケストラ・アンサンブル) 金沢音楽監督

「自然と折り合い うまく表現した」 HABB審査で評価 北陸朝日放送(HABB)の放送番組審議会が12日開かれ、5月15日に放送した「立山・豪雪の温泉宿 雲上で営業中!」について審議した。 番組では、立山の室堂平にある日本一高所の秘湯「みくりが池温泉」の今年4月の過酷なオープン準備に密着し、スタッフの苦労

などを追った。タレントのラッシャー板前さんがナビゲーターを務めた。 委員からは「人間が自然を克服するのではなく、自然と折り合いをつけて、どう取り込むかについて良く表現されていた」「吹雪の中で誘導などリーダーの行動力に感心した」「みくりが池温泉のスタッフの名前を、全て紹介したのが良かった」と評価された。 一方で「大変さか、楽しさか、どちらをより描きた

いのか狙いがわかりにくい」「スタッフ集めの苦労話など、55年続く宿の社長の声ももっと聞きたかった」という意見も出た。 北春千代委員長、表谷千賀副委員長のほか、鈴木紀美子、能登隆市、道場孝子、谷村庄太郎、極見由美子の各委員が出席した。

◆金大法律相談所が無料法律相談 24日10~15時、能美市寺井町の寺井地区公民館と、宝達

スタントマンが交通指導



能美市吉光町の寺井高校で、プロのスタントマンが実演する交通安全教室が開かれた。スタントマンたちは、傘をさしたり、車の陰から飛び出したりして、自動車や歩行者と接触する自転車事故などを迫真の演技で再現。全校生徒と教職員約660人は、真剣な表情

で事故防止の方法を学んでいた。 大型車がカーブを曲がる際、後輪が前輪より内側を通る「内輪差」で、歩行者や自転車巻き込まれる事故を間近で疑似体験した生徒の1人は「思っていた以上に怖かった。これからは横断歩道から離れて信号待ちしたい」と話していた。

来 5・0545、フック076・245・5253、メーイルysopranp@n2.ishikawa-c.ed.jp 主催 全日本合唱連盟中部支部、石川県合唱連盟、朝日新聞社 協賛 キュービー株式会社